

## V 閉会挨拶

広島大学

理事・副学長 上 真一

皆さん、今日はお集まりいただき、ありがとうございました。

全国には障害を持っている人、また障害を持っている学生は相当な数になるかと思えます。しかし、実際に大学でそういう人たちが教育を受けている人数は必ずしも多くない。そこにはいろんなバリアがあるのではないかと思います。大学ではそういう人たちを受け入れ、そして社会の一員として送り出しています。大学を中心に置いて、入学から大学での修学、そして就職まで、それぞれの立場でこういう障害を持った人たちを支援していくシステムがあり、様々な取組があることが理解していただけたと思います。

今後は、高校から社会まで一貫した支援体制を築き、関係機関と一体性を持った教育システムを作り、高等学校から生徒を受け取って、大学で教育をして社会に送り出し、社会のほうもその学生をうまく受け取ってくれる流れが、ずっと続くことを祈りたいと思います。

そうすることがいい社会を作っていくことにつながり、幸せな社会を作っていくことだと思っています。今日のこのセミナーが、そういったきっかけの第一歩になればと思っています。

本日のセミナーでは、音声情報を迅速に文字情報に変換し、耳の不自由な方でも話の内容がわかるように要約筆記をしてくださる方に支援していただきました。

いつも私は、その方々のすごく早く文字を打つ能力に感心しています。そういう技能を持っている“花たば”の皆様、誠にありがとうございました。

多くの方々のサポートに対する感謝も含めまして、これでセミナーを終了いたします。

本日はありがとうございました。